

# 第42回気候影響・利用研究会

Japanese Study Group for Climate Impact and Application

**日時**：2005年3月24日（木）12:30～17:00

**場所**：気象庁3号庁舎2F3026研修室（東京都千代田区大手町1-3-4）

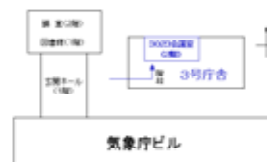
正面玄関を入り玄関ロビー対面の通用口から出る

（交通：地下鉄大手町駅または竹橋駅）

**連絡先**：農業環境技術研究所食料生産予測チーム

西森基貴(Tel:029-838-8236, Fax:029-838-8199)

(E-Mail: mnishi@niaes.affrc.go.jp)



## 研究会プログラム

[ 13:00～13:30 ] 2004年度気候影響・利用研究会総会

[ 13:30～17:00 ] 第42回気候影響・利用研究会

I．一般講演 [ 13:30～13:55 ]

- ・アフリカにおける最近の気候イベント - 2003年の大雨・洪水を中心に：  
門村 浩(本会会員)

II．特集1 [ 13:55～14:55 ]

「ヒートアイランド：その実態とモデリング」

(13:55-14:25)

- ・日本における著しい高温と強雨の増加実態：藤部文昭(気象研究所予報研究部)  
(14:25-14:55)
- ・ヒートアイランドのモデリング：日下博幸(電力中央研究所地球工学研究所)  
(14:55-15:10)：休憩

III．特集2 [ 15:10～16:25 ]

「京都議定書の発効と気候影響・利用研究」

(15:10-15:45)

- ・京都議定書の意義と課題：川阪京子(全国温暖化防止活動推進センター)  
(15:45-16:20)
- ・京都議定書報告に向けた国家森林資源データベースの開発：松本光朗(森林総合研究所)  
(16:20-16:55)
- ・夏期の推奨設定室温28度の根拠：中村泰人(熊本県立大)